



Tokyo Tech

東京工業大学URAウェブサイト改修 提案要件書別紙

2022年7月

東京工業大学

研究・産学連携本部 研究戦略部門

目次

1. プロジェクト概要

1. サイトリニューアルの背景と課題
2. リニューアルのコンセプトと達成目標 (KPI)
3. ターゲットとするユーザー層とWebサイトを閲覧していただく目的
4. リニューアル対象サイト・コンテンツ
5. リニューアルするWebサイトの技術仕様
6. プロジェクトスケジュール
7. 予算について

2. 提案依頼事項

1. 提案いただきたい範囲
2. サイトで使用する素材について
3. 機能要件 (例 : CMS)
4. 競合・ベンチマーク情報

1.プロジェクト概要

•1.1 サイトリニューアルの背景と課題

○ 本学は、研究推進や企業との産学連携、国際的な広報活動等を推進するため、関連する分野の高度な専門的知識を備えた高度専門職URA（University Research Administrator）を活用し、その活動内容をURAサイトや研究・産学連携本部サイトで紹介してきた。

○ しかし、URAサイトの開設から約5年が経過し、情報の幅が広がる半面、後から公開した研究・産学連携本部サイトとの導線が複雑化するなど、情報を必要とする人が適切な情報に辿り着きにくくなっている。また、URAのサービスは、利用したことがある研究者からは高く評価されるものの、一般的な知名度は高いとは言えず、より幅広い研究者層にサービス提供の対象を拡大する余地が残されている。

○そこで、今年度はURAが活動の基本計画として据えている研究大学強化促進事業が10年目を迎えることもあり、これを機に導線やデザインを見直し、ユーザーが情報を見つけやすくするとともに、コンテンツを見直しURAの人材像や必要性を理解頂くリニューアルを行う。

○ついては、本提案依頼書に記載の内容をもとに、本リニューアルに対する具体的なご提案を頂きたい。

■ 対象Webサイト

•東京工業大学URA Webサイト <https://www.ura.titech.ac.jp/>

1.プロジェクト概要

・1.2 リニューアルのコンセプトと達成目標（KPI）

○前項記載の「現状のWebサイトが抱える課題」を踏まえ、今回のWebサイトリニューアルでは、以下の目標達成を実現したい。

サイト	コンセプト	達成目標	KPI
URAサイト	URAが研究者に提供する支援を、実際にどう活用できるか紹介するサイト	<ul style="list-style-type: none"> ・研究時間確保や研究力向上のためにURAとの協働が有効であると感じさせる。 ⇒<u>サービスを使ってみよう</u>という気にさせる。 ・東工大URAのブランドイメージを作り、<u>認知度を向上</u>させる ⇒研究者の支援へと円滑に移行する 	<ul style="list-style-type: none"> ・使う気になったか： 本部サイトをゴールページに設定し、そこへの遷移数が一定以上ある。 ・認知度向上したか： サイト訪問数が増加する
本部サイト	URAが研究者に提供できる支援には何があるか、必要な情報が網羅されているサイト	<ul style="list-style-type: none"> ・解決策がある問いに対し、<u>情報を提供</u>することで探す時間を短縮する。 ・延いては、研究者の役に立つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・問いに対する情報を提供できたか： (より詳しい) 第三階層への流入数が増加する ・サイト全体への学内からの訪問数が増加する

1.プロジェクト概要

•1.3 ターゲットとするユーザー層とWebサイトを閲覧していただく目的

○Webサイトのターゲットユーザー層と、それぞれのユーザー層に対してWebサイトを閲覧していただく目的は以下の通り設定している。 **これらのターゲットに訴求するSEO対策が必要である。**

優先順	ターゲット層	本サイトを閲覧していただく目的
1	東工大の研究者	<ul style="list-style-type: none"> • URAが最優先する顧客である。 • 本学のURAが行っている支援内容について具体的にイメージして頂く。 • 活用事例を把握した上でURAに支援を要請するかどうかの参考にさせていただく
2	日本の中央省庁の 科学技術政策 所掌部署の担当者	<ul style="list-style-type: none"> • 本学の研究費の大部分は、日本政府からの支出により賄われている。これらの資金を獲得する後方支援はURAの大きな使命である。URAの雇用財源もそこに含まれている。 • URAの活動が「見える」サイトを運営することで、数字に依らない研究マネジメントの実態を把握していただき、研究現場における支援人材の必要性を国や国家プロジェクト担当者に理解していただく

1.プロジェクト概要

・1.4 リニューアル対象サイト・コンテンツ

- ・ 本プロジェクトの対象となるサイトの情報は以下の通り。
- ・ なお、この情報は2022年7月1日時点。

■ 対象Webサイト

東京工業大学URA Webサイト <https://www.ura.titech.ac.jp/>

関連Webサイト 東京工業大学 研究・産学連携本部Webサイト <https://www.ori.titech.ac.jp/>

■ 情報の整理について

- ・ 改修コンセプトに従い、現在URAサイトにある情報の一部は本部サイトへ移設する。
- ・ 本部サイトは既存コンテンツの中に情報を追加する程度に留め、改修は行わない。情報を移設する個所については、URAサイトから移設すべき記事を選定し、本部サイト上のどこに掲載すべきか、位置を設計頂きたい。その際、URAサイト、本部サイトそれぞれのユーザーエクスペリエンスを踏まえたものとして頂きたい。本部サイトのコーディングは本学にて実施する。
- ・ 新URAサイトには日本語から英語への自動翻訳機能を実装すること



情報の一部を移設



1.プロジェクト概要

•1.5 リニューアルするWebサイトの技術仕様

- リニューアル後のURAサイトの技術仕様は以下を想定している。
- 本学のサーバー代行サービスを利用することを想定し、構築すること。

	現状	リニューアル後
サーバOS	CentOS 6.9(x86_64)	CentOS 8.1(x86_64)
WWWサーババージョン	Apache 2.2.15	Apache 2.4.137
クライアント接続プロトコル	SFTP(SCP) (学内のみ接続可能)	SFTP (学内のみ接続可能)
https(*1)	可(UPKI)	可(UPKI)
SSI	利用可(Exec命令無効)。動作保障なし	利用可(Exec命令無効)。動作保障なし
CGI	可 (suexec)	可 (suexec)
perlバージョン	5.10.1(/usr/bin/perl)	5.26.3(/usr/bin/perl)
PHPバージョン	5.6.27	7.2.11(FPM/FastCGI)
データベース	MySQL 5.5.53(localhost)	MySQL 8.0.17(localhost)

- 本学のサーバーへの負荷を考え、環境を提案すること。
- 今後このウェブサイトを維持運用していく上で必要な投稿、ページ増設・削除、考えられる軽微な修正についてはマニュアルを製作頂きたい。
- 納品後は更新作業をWEB操作に関する習熟度の高低に関わらず担当することになる。それを想定し、Wordpressやムーブブルタイプ等、代表的なCMSを利用して更新可能なもので構築頂きたい。
- スマートフォンやタブレット等のモバイル環境でも PC と同様に閲覧できるよう、レスポンスWeb デザインの提案を行い、実装すること。
- 本部サイトはCMSを使用しない。

1.プロジェクト概要

•1.6 プロジェクトスケジュール

○想定しているスケジュールは以下の通り。サイト公開は2023年3月15日を予定。

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20XX 年1月	2月	3月
提案・選定	●————●								
発注・契約		●——●							
要件定義			●————●						
計画策定			●——●						
仕様設計 移設記事設計				●————●					
画面設計				●————●					
環境構築				●————●					
CMS構築					●————●				
サイト制作 本学) 記事制作						●————●			
テスト確認								●——●	
サイト公開 移設記事公開									■

URAサイトは黒文字、本部サイトは青文字で記載している。本部サイトの記事制作は本学にて実施する。 8

1.プロジェクト概要

•1.7 プロジェクト予算

- 本プロジェクトの予算として、250万円を上限として想定している。

2. 提案依頼事項

・2.1 提案いただきたい範囲

・本提案でご提案いただきたい範囲は以下の通り。以下の項目に基づいて、貴社のご提案をお願いしたい。

1. 企画提案書
 - ① 現在のWebサイトの分析・考察
 - ② リニューアルコンセプトに関する考察
 - ③ 課題に対する具体的な施策のご提案
 - ④ 集客のための仕組み、コンテンツ提案
 - ⑤ Webサイト構造案
 - ⑥ 将来的に拡充すべきコンテンツのご提案
 - ⑦ 導入するCMSのご提案
 - ⑧ セキュリティ対策
 - ⑨ 運用保守
2. Webサイトのデザイン案
3. プロジェクト体制
4. 制作スケジュール
5. 貴社情報
 - ① 貴社概要
 - ② 制作実績
 - ③ ワークライフバランス関連情報
 - ④ 誓約書
6. 制作費見積もり

2.提案依頼事項

■ 前述の提案依頼事項に関する補足

事項	補足
現在のWebサイトの分析・考察	貴社の視点において、URAサイトにどのような課題があるかを分析ください。
Webサイト構造案	<p>外国人ユーザーの使用も想定しているため、ミラーで表記の日本語・英語切り替えが可能な構造をご提案下さい。本学固有の英語表記等は本学が提示します。</p> <p>日本語から英語への自動翻訳機能は以下をご提案下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフト名 ・機能の実装構造 ・固有名詞の登録方法
導入するCMSのご提案	<p>以下情報をご提示ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CMSの名称、開発ベンダー名、特長 ・ CMSで管理運営する対象コンテンツ・対象ページ ・ CMSのライセンス料金体系 ・ CMS導入に必要なシステム構成 ・ CMSを導入した際の本学でのWebサイトの管理・運營業務フロー図 ・ CMS導入後の貴社のサポート体制
Webサイトのデザイン案	<p>デザインは以下ページを対象にご提示ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トップページ ・ 活動紹介コラムページ

2.提案依頼事項

事項	補足
セキュリティ対策	不正アクセス防止、改ざん防止の為に現行と同等以上のセキュリティを担保する対策を提示してください。
保守運用	制作費見積書とは別に、今後発生し得るサイト公開後の運用保守についてご提案ください。保守の内容に加えて頻度と費用概算もご提示ください。
プロジェクト体制	<p>■ 貴社プロジェクト体制</p> <p>貴社のプロジェクト体制図、各メンバーの役割を明示ください。なお、プロジェクトマネージャー、制作ディレクターおよびデザイナーにつきましては、本プロジェクトをご担当いただく方の氏名と過去の実績をご紹介ください。</p> <p>- パートナーとの共同プロジェクト体制について</p> <p>本プロジェクトを提案いただくにあたり、貴社内では対応しがたい作業範囲が発生した場合には、貴社が提携しているパートナー会社と組んだ体制で対応いただくことを許可いたします。その場合は、体制図にパートナー会社も入れてください。</p> <p>なお、パートナー会社の作業範囲における制作内容、品質等で発生した責任は、全て貴社で負っていただく前提とします。</p> <p>■ 本学プロジェクト体制</p> <p>本プロジェクトにおいて、本学側はどのような体制をとることが望ましいかをご提案ください。</p>

2.提案依頼事項

■ 前述の提案依頼事項に関する補足

事項	補足								
制作スケジュール	<p>本プロジェクト過程において以下のイベントを予定しています。 これらを踏まえて、プロジェクトのマスタースケジュールを提案ください。</p> <table border="1"> <tr> <td>➤ リニューアルサイト公開日</td> <td>20XX年XX月XX日</td> </tr> <tr> <td>➤ リニューアルサイトデザインに対する担当者承認</td> <td>20XX年XX月上旬</td> </tr> <tr> <td>➤ 担当者向けのテストサイトレビュー</td> <td>20XX年XX月XX日</td> </tr> <tr> <td>➤ リニューアルサイトの検収</td> <td>20XX年XX月XX日</td> </tr> </table>	➤ リニューアルサイト公開日	20XX年XX月XX日	➤ リニューアルサイトデザインに対する担当者承認	20XX年XX月上旬	➤ 担当者向けのテストサイトレビュー	20XX年XX月XX日	➤ リニューアルサイトの検収	20XX年XX月XX日
➤ リニューアルサイト公開日	20XX年XX月XX日								
➤ リニューアルサイトデザインに対する担当者承認	20XX年XX月上旬								
➤ 担当者向けのテストサイトレビュー	20XX年XX月XX日								
➤ リニューアルサイトの検収	20XX年XX月XX日								
貴社情報	<p>制作・開発の実績もあわせてご提示ください。</p> <p>ワーク・ライフ・バランスを推進する企業として、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）、次世代育成支援対策推進法、青少年の雇用の促進等に関する法律、その他の関係法令に基づく認定（えるぼし認定、くるみん認定、ユースエール認定等）を受けている場合は認定書の写し、または、女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画（常時雇用する労働者数が100人以下の企業のみ）、その他ワーク・ライフ・バランス等推進をしている企業であることが分かる資料を提出してください。</p>								
制作見積もり	<ul style="list-style-type: none"> 費用の内訳が把握できる形でご提示ください。 見積前提条件の記載もお願いします。オプションをご提案いただく場合は、その費用は本プロジェクトのコストとは別でご提示願います。 要件定義フェーズと制作構築フェーズに分けて、コストを提示ください。 								

2.提案依頼事項

・2.2 サイトで使用する素材について

- コンテンツ内にGetty社やAdobe社等の有料素材、写真を使用する場合は、権利上問題ないものを使用すること。
- Webサイトのフレームワークとなる部分（ナビゲーションや見出し、ラベルなど）は、新しくデザインいただく。
- 受注者が業務を遂行する上で必要な資料やイラストの素材は、貴社および本学が所有しているものを利用するか、有料素材で権利上問題ないものを利用いただく。
- 有料の写真・イラストを購入する場合の費用は見積もりに含めること。
- 本業務の実施にあたり撮影等が必要な場合は、事前に本学と協議の上、受注者が関係各所へ撮影及び公開の許可を得ること。

2.提案依頼事項

・2.3 機能要件

・CMSは、Word pressやMovable Typeを基本として、以下の機能および条件を充足するものをご提案ください。上記2種類以外を提案頂く場合はその必要性について論拠をご提示ください。

- 大手企業における導入実績が豊富なCMSであること
- CMSの開発ベンダーによる製品保証があり、定期的にバージョンアップやリビジョンアップがされること
- 編集者・承認者を分け、承認管理・ワークフローの設定ができること
- 導入後のサポート体制がしっかりしていること
- Webサイトの更新作業において、直感的に操作ができるユーザーフレンドリーなインターフェースであること
- パンくずリストを自動生成することができること
- タグ生成ができること
- 新着情報やメンバー紹介ページなど、定型の入力テンプレートを用意できること
- HTMLのタグの知識があまりなくても、編集作業ができること
- 公開前にプレビューモードで表示確認できること
- 日時指定で公開作業できること
- リンクチェックができること

2.提案依頼事項

■ 本学で想定しているCMS利用ユーザー

利用部門	2部門
利用者	コンテンツ作成・編集担当者：10名 コンテンツ承認担当者：1名
導入想定コンテンツ	新着情報、メンバー紹介、活動コラムページ

■ プレゼン時のCMS操作のデモンストレーション実施のお願い

ご提案いただくCMSは、実際にどのような操作手順で公開できるかをご説明いただきたく、CMS操作のデモンストレーションの実施をお願いします。記事の追加からWebサイト公開までのワークフローをご説明いただけるよう、ご準備のほどお願いいたします。

(デモ環境は、貴社で運用している環境内でご準備ください)

2. 提案依頼事項

■ 補足情報

•現在、Webサイト更新時には、下記のフローにて編集、承認、本番公開へと進めていますが、本学にとって最適な運用フローのご提案をお願いいたします。



2.提案依頼事項

・2.4 競合・ベンチマーク情報

・本学の競合大学および普段、ベンチマークとして参考にしているサイトは以下がある。

■競合大学のURAサイト

大学/部署名	サイトURL
京都大学 学術研究支援室	https://www.kura.kyoto-u.ac.jp/
大阪大学 経営企画オフィス	https://www.ura.osaka-u.ac.jp/
北海道大学 URAステーション	https://u4u.oeic.hokudai.ac.jp/